

# 世界精神保健デーに繋がる Covid-19 をめぐるメンタルヘルスと 演劇・表現活動 — 2021年へ向けて —

2020年10月10日(土)

15:00~17:00

伊日逐次通訳付

メイン会場

イタリア文化会館 - 東京 アニエッリホール

東京都千代田区九段南 2-1-30

メイン会場とボローニャ、名古屋、浜松、大阪の会場をオンラインでつないで  
リモートライブ形式で開催します。

プログラムは後日オンデマンド動画配信予定。

参加費無料(予約制)

ご来場の皆さまへのお願い

会場内でのマスクの着用など、感染予防対策へのご協力をお願い致します。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況によって、ご来場をお断りすることがございますので、ご了承ください。

主催 特定非営利活動法人東京ソテリア、イタリア文化会館  
助成 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
協力 ボローニャ市、エミリア・ロマーニャ州立ボローニャ地域保健連合機構精神保健局、エミリア・ロマーニャ演劇財団、アルテ・エ・サルデーテONLUS  
後援 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会、認定特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構、特定非営利活動法人全国精神障害者地域生活支援協議会、公益財団法人日伊協会、朝日新聞社

# 世界精神保健デーに繋がる Covid-19 をめぐるメンタルヘルスと 演劇・表現活動 — 2021 年へ向けて —

2020 年、新型コロナウイルスの世界的流行は、人類の生命を脅かし、終わりの見えない日々の中、グローバル化の産物として私達の「健康」への意識を大きく変容させました。未知なる感染症に対する個の不安や恐怖、フィジカルディスタンスは、情報の拡散と共に社会的不安となりました。そして今、新たな生活様式、他者とのコミュニケーションのあり方、政治政策・経済・文化の新たな在り方と共に、新たな精神保健への提案が世界的な規模で強く求められ続けています。

このような中、NPO法人東京ソテリアがイタリア文化会館、ボローニャ市、ボローニャ精神保健局（AUSL di Bologna）、アルテ・エ・サルデーテ劇団とともに 2020 年 10 月に開催を予定していた日伊の精神障害当事者による演劇『マラーノ/サド』日本公演は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむなく 2021 年へと延期となりました。

困難な状況に向かい合いながらも、私達は関係各所の皆様と共に、今年度 2020 年世界精神保健デーにイベントを開催する意義を考えました。イタリア文化会館 - 東京をメイン会場として、大阪・名古屋・ボローニャをリモートで繋ぎ、変動の時代に求められる普遍的な人と人との繋がり、芸術の力、そして、メンタルヘルスの未来への課題と希望を日伊の共同企画でお伝えしていきます。

「アルテ・エ・サルデーテ」日本公演に期待する  
精神障害者の芸術活動を支援する有志が 20 年前にボローニャで始めたこの劇団が、素晴らしい舞台を創造していることは、新型コロナ危機を乗り越えるヒントを我々に提供しているように思われます。

学校法人稲置学園理事、大阪市立大学名誉教授  
佐々木雅幸

今だからこそ、  
イタリアと日本をつないで語り合う、メンタルヘルスと表現活動

イタリア演劇学者／静岡文化芸術大学理事・名誉教授  
高田和文

現在私達が直面している複雑で不安定な歴史的局面において  
演劇界との対話や精神保健の取り組みは貴重であり、  
社会におけるコミュニティの絆へ力を与えていくことでしょう。

エミリア・ロマーニャ演劇財団長 クラウディオ・ロンギ

## 参加申込（2020 年 9 月 20 日開始）

参加申込は下記の URL よりお願いいたします。  
<https://iictokyobooking.net/rsv/2966/>



## お問合せ先・ご連絡先

特定非営利活動法人 東京ソテリア プロジェクト事務局  
電話 03 - 5879 - 4970  
Email 2020@soteria.jp  
URL <https://soteria.jp>

## Italy Back to Japan

- イタリア文化会館長挨拶  
イタリアと日本との友好の再開に寄せて  
パオロ・カルヴェッティ（イタリア文化会館館長）

## ボローニャ市から日本の皆さんへ

国際交流を機にした障害者の社会参加促進と市民の理解と協力、  
2021 年へ向けて  
マルコ・ロンバルド（ボローニャ市評議員、ヨーロッパ・国際外交、国際協力、  
“ボローニャ・アクセシビリティ・アワード 2021” - 欧州障害者政策）

## 世界精神保健デーに繋がる Covid-19 をめぐるメンタルヘルス

感染症流行に係る精神保健サービスの変容、個人及び社会全体の健康、  
特に精神保健への新たな意識をテーマにした日伊精神科医による討論  
アンジェロ・フィオリッティ（エミリア・ロマーニャ州地域保健連合機構  
ボローニャ精神保健 - 依存症局長、精神科医）

指定討論  
東京会場 上島雅彦（竹田総合病院 精神科医）  
名古屋会場 新居 昭紀（びあクリニック 精神科医）  
大阪会場 蓑島 豪智（いむくら病院 精神科医）

## 地域精神保健サービスにおける

### フィジカルディスタンスとソーシャルディスタンス

コロナの時代において、人と人との間、共にあること、関係性を保つ  
とは何か - 地域精神保健サービスの支援者による創造的提案  
コンチェッタ・ピエトロバッティスタ（エミリア・ロマーニャ州地域保健  
連合機構ボローニャ精神保健局 生活支援員）

対談：増川ねてる（WRAP@ ファシリテーター / 元精神科医療・福祉ユーザー）

## 世界精神保健デーに繋がる 当事者の表現活動

ボローニャ精神保健局の利用者がプロの俳優として活動するアルテ・  
エ・サルデーテ劇団による 2020 年 10 月『マラーノ/サド』日本公演は、  
来年度へ延期された。一年間に及ぶ稽古を経て、日本の精神障害者や  
医療福祉職も俳優として参加する予定であった。イタリア人俳優達、  
またこの公演をきっかけに演劇稽古を開始した日本人当事者は、この  
経験にどう向き合ったのか？ 演劇を通し、日伊が繋がる 2021 年『マ  
ラーノ/サド』日本公演へ向けての自由と希望のプロローグ

対談：松本直之（NPO法人東京ソテリア）  
- アルテ・エ・サルデーテ劇団日本公演稽古参加者体験談  
- アルテ・エ・サルデーテ劇団ナンニ・ガレツァ監督と劇団員からのメッセージ  
- 日伊による合唱「Matti si ma schiavi no - 狂人だけが奴隷ではない」

## 2020 年から 2021 年世界精神保健デーへ向けて

パンデミックは私達に何を教えたか、地域精神保健サービスの未来  
イヴォンヌ・ドネガーニ（エミリア・ロマーニャ州地域保健連合機構ボロー  
ニャ精神保健 - 依存症局前局長、精神科医）